



太陽ホールディングス株式会社
TAIYO HOLDINGS CO., LTD.

〒176-8508 東京都練馬区羽沢二丁目7番1号
TEL: 03-5999-1511 (代表) FAX: 03-5999-1501
<http://www.taiyo-hd.co.jp>

未来が変わる。日本が変わる。
チャレンジ
25



太陽ホールディングス株式会社
TAIYO HOLDINGS CO., LTD.

CSRレポート 2015

社会を照らす、未来を照らす

CONTENTS

- 03 トップコミットメント
- 04 経営理念・CSR理念・行動規範
- 05 特集：従業員ダイアログ

マネジメント

- 08 2014年度CSR活動の実績と今後の目標
- 09 コーポレートガバナンス
- 09 コンプライアンスに関する取り組み
- 10 リスクマネジメントに関する取り組み

社会性報告

- 11 株主の皆様との関わり
- 12 お客様との関わり
- 12 お取引先との関わり
- 13 地域・社会との関わり
- 15 社員との関わり

環境報告

- 17 環境方針と環境マネジメントシステム
- 18 事業活動と環境との関わり
- 19 環境負荷低減の取り組み
- 21 法規制測定データ集

編集方針

本レポートでは、従業員ダイアログを特集としてご紹介し、続けて太陽ホールディングスグループ(以下、太陽HDグループ)の「マネジメント」「社会性報告」「環境報告」の3章を柱にしています。また、専門的でわかりにくい用語については、「用語解説」を設け補足しています。

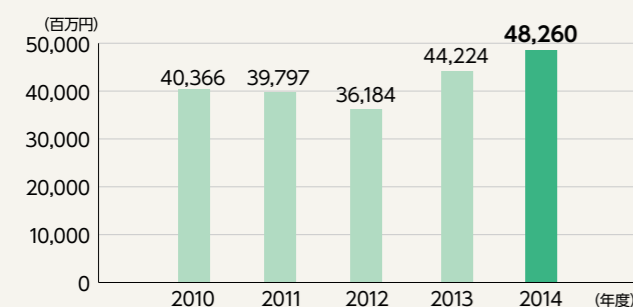
対象期間・対象範囲

本レポートの活動対象期間は、2014年度(2014年4月1日～2015年3月31日)です。対象範囲は、太陽ホールディングス(以下、太陽HD)本社ならびに太陽インキ製造(以下、太陽インキ)、太陽グリーンエナジー(以下、太陽GE)、太陽HD嵐山事業所のマネジメント・社会性・環境の3側面における活動です。活動対象期間が異なる場合は、該当箇所に別途記載しています。

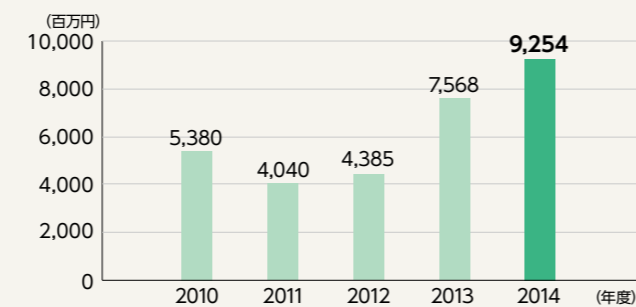
発行年月

2015年6月(次回予定:2016年6月)

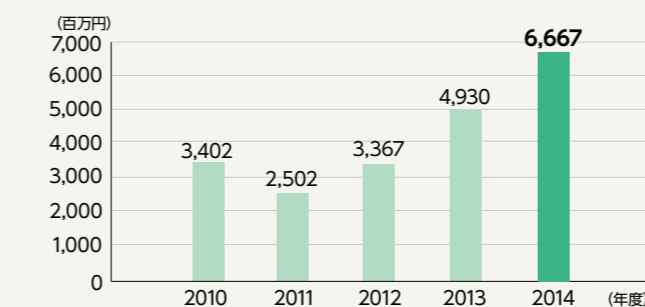
■ 売上高の推移(連結)



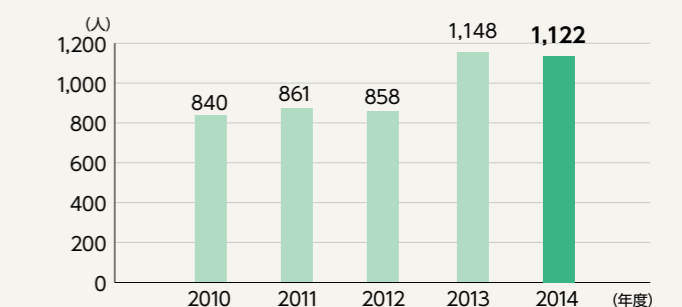
■ 営業利益の推移(連結)



■ 当期純利益の推移(連結)



■ 従業員数の推移(連結)



For Tomorrow

明日の地球にできること

太陽HDグループは、ソルダーレジストのトップメーカーです。当社グループの製品は、一般の方の目に触れる機会は多くありませんが、家庭やオフィス、その他生活の身近にあるあらゆる電子機器に使用され、安全で豊かな暮らしを支えています。ステークホルダーから信頼され、共感される企業であり続けるために、これからも事業を通じて社会の持続的な発展に貢献していきます。

プロフィール

太陽HDは1953年に印刷用インキの製造販売会社として設立し、その後1976年にエレクトロニクス業界向けのソルダーレジストを主力製品とする事業に大転換いたしました。

現在は商号を設立時の「太陽インキ製造株式会社」から「太陽ホールディングス株式会社」に変更し、2013年4月には経営理念の改定を行うなど、常に時代にあわせて進化を続けつつ、設立時の「太陽のように社会を照らし、人々の役に立つ存在でありたい」という想いはそのままに受け継ぎ、これからも皆様に愛される企業グループを目指します。

会社概要

社 名：太陽ホールディングス株式会社
 英 文 社 名：TAIYO HOLDINGS CO., LTD.
 本 社 所 在 地：東京都練馬区羽沢二丁目7番1号
 電 話 番 号：03-5999-1511(代表)
 設 立 年 月 日：1953年9月29日
 事 業 内 容：持株会社、グループ全体の経営方針策定
 および経営管理
 資 本 金：61億3,490万円
 従 業 員 数：連結1,122名/単体80名(2015年3月31日現在)



※中外化成株式会社は2015年6月1日付でグループ会社になりました。

■ トップコミットメント

「100年企業」を目指し、今後も新たな事業の創出とグループの成長を通じて、社会的責任を果たしてまいります。

2014年度を振り返って

2015年3月期の世界経済は、日本や米国においては緩やかな景気回復の基調を維持し、欧州においても持ち直しがみられる一方、中国では製造業の景況感が一時的に回復したものの景気拡大の速度は鈍化しました。

このような状況の下、太陽HDグループではリジッド基板用部材や半導体パッケージ基板用部材が堅調に推移したため販売数量が増加し、また為替の影響などもあり販売金額も前年同期を上回る水準となりました。この結果、売上高、利益ともに過去最高を達成することができました。

引き続き、当社グループが成長していくためには、「自律型人材の育成」と「新規事業の創出」が重要であると考えております。当社グループがソルダーレジスト市場におけるシェアを拡大しつつ、新規事業を継続的に創出して軌道に乗せ、企業グループとして永続的に成長していくためには、自ら目標を設定してその実現を楽しむような自律型人材を数多く育成することが肝要であると考えております。また同時に、当社グループでは、「新規事業の創出」として各部門から選抜した専属チームを立ち上げ、一定の責任と権限を与えることにより、新製品の事業化に専念できる環境を構築してまいります。

BCP対策構築に向けて

当社グループは、電装化が進む自動車、スマートフォンなどのIT機器やデジタル家電に搭載されるプリント配線板に欠かせないソルダーレジストを主力製品としております。このたび、今後の需要が期待される半導体パッケージ基板用ソルダーレジストのさらなる生産体制強化とBCP(事業継続計画)の観点から、2014年11月より北九州市に新たな生産拠点としての工場建設に着手いたしました。

北九州市に工場を建設する主な理由として、半導体パッケージ基板用ソルダーレジストを複数拠点から供給する必要があったこと、顧客の多いアジアへのアクセスもよく、低災害リスクエリアである北九州市が最適であったこと、さらに、北九州市内では化学メーカーに必要なインフラが充実していることなどが挙げられます。2015年9月に操業予定となっており、これにより大規模災害などの有事の際でも、製品出荷が可能になることで、今後も世界トップシェアメーカーとしての責務を果たしてまいります。

スピード&コミュニケーション

自律型人材の育成と新規事業の創出に加え、「スピード&コミュニケーション」を当社グループのキーワードと考えています。私が社長に就任した当初より、このキーワードを多くの社員と共有してまいりましたが、近頃では社員に浸透し成果につながっていると実感しています。グループ各社の連携と全員のチームワークを活性化することで、企業総合力を高めていくとともに、引き続き、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションの充実を図っていきたく考えています。

また、「雇用を生み続ける」ことが企業の責任である、私は考えています。新たな事業を創出し、雇用を生み続けることが、当社グループのCSRの本質といえます。国内外の拠点において、現地雇用を含めた地域貢献策を今後も推進していきます。

太陽HDグループでは、「100年企業」を目指し、今後も新たな事業の創出とグループの成長を通じて、社会的責任を果たしてまいります。

2015年6月



代表取締役社長

佐藤 英志

■ 経営理念・CSR理念・行動規範

経営理念

我がグループの「あらゆる技術」を高め、革新的な製品をもって、夢あるさまざまなモノをグローバルに生み出し、楽しい社会を実現します。

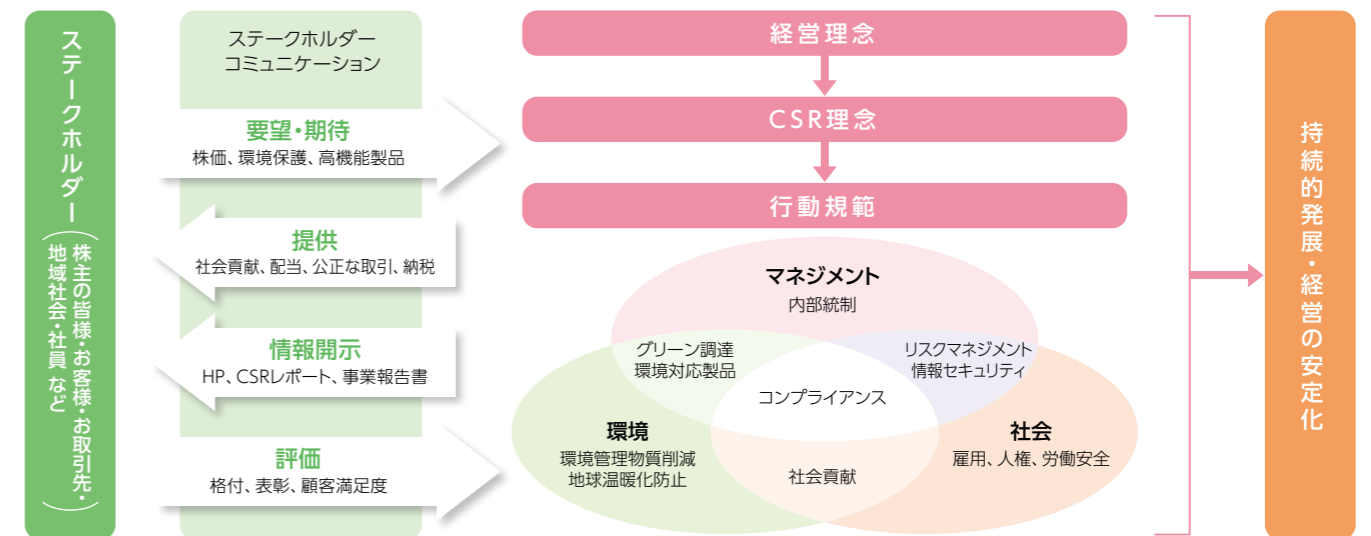
CSR理念

わが社は法令遵守、環境保護、品質管理の徹底、社会貢献を含め企業の社会的責任を全うします。

行動規範

CSR理念を実現させるために、次の各項を定め行動します。

- | | |
|------------------|---|
| 1. 倫理・法令遵守 | 私たちは、事業活動にあたって法令その他の社会的規範を遵守し、その精神を理解して公平かつ公平に行動します。 |
| 2. 職場の環境 | 私たちは、社員の人権を尊重し、公平で差別のない職場をつくりまします。 |
| 3. 公正な取引の実施 | 私たちは、全ての取引先に誠意をもって接するとともに公平かつ適正な取引条件を設定し、事業活動を行います。 |
| 4. ステークホルダーの尊重 | 私たちは、常に全てのステークホルダー(利害関係者)の立場を尊重し事業活動を行い、また、開示すべき情報は適時・適切に公表します。 |
| 5. 秘密の保持 | 私たちは、取引先の秘密情報、自社の秘密情報ならびに個人情報等を漏洩しないように管理を行います。 |
| 6. 品質の確保(品質方針) | 私たちは、お客様に満足していただける品質と安全性を確保し提供します。 |
| 7. 環境の保全(環境基本理念) | 私たちは、社会的責任遂行の一環として地球環境保全に努め、環境と調和した事業活動を行います。 |
| 8. 社会貢献活動 | 私たちは、社会の一員として社会貢献活動を行います。 |
| 9. 知的財産権の尊重 | 私たちは、創作したまたは保有する知的財産権を適切に保護するとともに第三者の知的財産権も尊重します。 |
| 10. 反社会的勢力の排除 | 私たちは、反社会的勢力に対し、不法・不当な要求には一切応ずることなく、毅然とした態度を貫きます。 |



太陽HDグループのダイバーシティ 多様な人材を生かす職場づくり

太陽ホールディングスグループでは、社員一人ひとりが持てる能力や個性を發揮できるよう、多様な人材を生かす職場づくりを推し進めています。太陽HDグループのダイバーシティのさらなる充実、浸透を図るために、現場の第一線で活躍する従業員によるダイアログを開催しました。



職場環境の整備で気持ちから変える

佐藤社長 皆さんが今まで以上に働きやすく、職場はコミュニティであると実感してもらえるように人事制度や働きやすい職場環境の整備を進めています。今日は、様々な部署から多彩な顔ぶれにお集まりいただきました。ぜひ思いの丈を発言してください。

はじめに職場環境から話を進めていこうと思います。今回、集まってもらった太陽インキ製造(埼玉県比企郡嵐山町)の社員食堂は全面改装し、この4月にリニューアルオープンしたばかりです。社員の皆さんの足が自然と向くような場となるよう設計されています。

川合 営業担当の立場としては、実際に製造現場をお客様にご覧いただくことも必要です。先日も工場見学を兼ねてお招きしたばかりですが、食堂のコンセプトも含め、お客様は「最先端を行っていますね」と驚かされていました。

佐藤社長 外部の方にお越しいただき、コミュニケーションを促進することもねらいのひとつです。また、地域にも貢献しようと、食堂で使う野菜などはできるだけ地物にこ

だわって使うようにしています。地域の農業関係者が来社されたときにそのことをお話ししたら、大変喜ばれました。食堂は地域の方にもオープンにして、お役に立つようにしていこうと考えています。

小池 嵐山事業所の改装では壁や柱がホワイトボード素材となりましたが、アイデアをすぐ書きとめられるので私の勤務している太陽インキでも導入してほしいですね。

佐藤社長 会議やちょっとしたミーティングで活用できるように工夫しました。斬新なアイデアが生まれることを期待しています。

女性が活躍できる企業風土づくり

佐藤社長 女性社員が働きやすい職場を目指して、託児所の設置を進めています。当社では2015年4月現在12名の社員が産休や育休、短時間勤務をしていますが、仕事における長期休業は本人や会社にとってマイナスの面もあります。それを解消するには、社内託児所がベストと判断しました。先行して導入した企業からお話を伺ったとこ

ろ、想定していた効果はもちろん、敷地内に子どもがいるというだけで癒しの作用も生まれるとのこと。子どもを通じたコミュニケーションの活性化という副次的効果もあるようです。

能坂 託児所ができれば利用する社員も多いと思います。私には2歳の娘がいますので母としての切実な思いを申し上げますと、病児保育や病後児保育もご検討いただけませんか。これらの保育をしようとする手続きが大変で、みんな困っています。私も子どもが熱を出せば職場に無理を言ってお休みをいただきますが、そのたびに心苦しい思いをしています。

小池 職場には共働きの人が少なくありません。お子さんが病気にでもなったりしたら、休んだりするのは仕方ないことです。病児保育もする託児所ができれば、急なお休みの調整をする必要もなくなり、働き方も変わると思います。

佐藤社長 看護師に入ってもらうなどの措置が必要ですね。検討しましょう。

川合 私にも2歳の子どもがいますが、男性社員も利用できますか。妻は専業主婦ですが、24時間子どもにつききりではストレスが溜まりますし、母子共に風邪を引いたときなど、子どもを会社に連れてくるのができれば、妻の負担も軽くなると思います。

佐藤社長 もちろんです。託児所は、女性社員の活躍促進が一義的な目的ですが、男性社員の利用も歓迎します。当社は男性比率が高い状況ですが、男性にも女性にも働きやすい職場環境を実現することで、バランスの取れた健全な企業風土づくりをさらに進めていきたいと思っています。

能坂 私の知る限り当社は残業が少ないように感じています。仕事が終わればすぐに帰って家事ができますから、女性にとっては働きやすい会社だと思います。女性社員がもっと増えるといいですね。



ダイバーシティについて従業員たちと語り合う佐藤英志社長

人材の活用、育成こそが企業発展の源

能坂 葉さんはマレーシア出身なんですね。当社のどんなところに魅力を感じて志望したのですか。

葉 決め手になったのは、売上高の海外比率が80%以上というグローバル企業であることと、ソルジャーレジストにおいてトップ企業という強みです。ここなら、語学力や異文化を理解する外国人としての長所を生かせると考えて入社しました。

小池 入社してみたの印象はどうか。

葉 事業内容だけではなく、旅行には補助が出るなど、福利厚生が充実しているところも魅力です。また、職場環境がますます良くなっています。

佐藤社長 鈴木さんは2014年入社ですから、入社してちょうど1年経ちます。率直な感想を教えてください。

鈴木 私は就職活動の会社見学で感じた雰囲気の良いさが決め手になって入社を決意しました。実際に周囲の人はとても接しやすく、いろいろ教えていただいています。この1年で所属部署の60~70%の業務に従事することができました。

能坂 辛いことはありませんか。

鈴木 今かもかもしれません(笑)。というのは、今、特殊な機械を担当させてもらっているからです。この機械はこれま

参加者 50音順(敬称略)



川合 永二
太陽インキ製造
PCB営業部 2011年入社



小池 直之
太陽インキ製造
FPCプロジェクト 2008年入社



鈴木 智也
太陽インキ製造
製造部 2014年入社



能坂 麻美
太陽ホールディングス
研究部 2007年入社



葉 家萍
太陽ホールディングス
経理財務部 2013年入社



で新人が扱ったことはなかったのですが、生産担当としてすべての工程に携わってみたいとの思いから、チャンスだと思って志願しました。操作が複雑で手間取ってしまいトラブルがおこることもあります。

川合 そんなとき、先輩は教えてください。

鈴木 はい。よくフォローしていただいています。おかげで自信がついてきました。

人事制度でやる気を引き出す

佐藤社長 社員が安心して生活ができ、モチベーションを高めて仕事に従事できるように、待遇面では賞与水準を見直したことで、当社の株式を付与する「ESOP信託*」を導入しました。感想を聞かせてください。

小池 今までの賞与が少なかったと思っていただけではありませんが、前回の賞与はかなり増えたので、私も周りも驚いています。

鈴木 入社1年目からしっかりと賞与をいただけるなど、思ってもみませんでした。

能坂 ESOP信託で自社株を保有することで、自ずと会社のことを考えるようになると思います。愛社精神も膨らみます。

川合 会社の株を持つということは、株主の立場で客観的に会社を見ることにもつながります。視点を変えてみることで、「自分の会社ってこんなにいいところがあったのか」と再認識する契機にもなりました。

葉 私は、レクリエーション費用を会社が補助してくれる「社内レクリエーション費用支援制度」もうれしいですね。

川合 高級な食事を楽しむ、アクティビティを体験する、などなど日頃はなかなかできないことを通じて社員同士が交流を深める、しかもその費用を会社が補助してくれる。こんなに素晴らしい制度は大歓迎です。

*ESOP信託：Employee Stock Ownership Planの略。当社社員の帰属意識の醸成と経営参画意識を持たせ、長期的な業績向上や株価上昇に対する意欲や士気の高揚を図るとともに、中長期的な企業価値向上を図ることを目的としたインセンティブ・プラン。

世界的化学メーカーを目指した取り組み

佐藤社長 会社は今、製品によって開発・営業・生産といった縦割り組織をひとつのプロジェクトにまとめる取り組みを始めています。小池さんは開発部門からFPCプロジェクトに異動しましたが、どんな変化がありましたか。

小池 プロジェクトの長期目標は『市場の製品をすべて当社製品に置き換える』という意欲的なものです。以前は製品開発のことだけを考えていましたが、今は隣の席に営業担当がいることもあって、私もお客様にどのように製品を認めていただくか考えるようになりました。お客様の望む製品の特性を達成するための納期だけではなく、販売するために必要な納期・タイミングも考えるようになるなど、物事を考える順番や意識が大きく変化しました。

能坂 職種間の心の壁もできないでしょうね。

小池 もともと、そういった壁は低かったと思いますが、今は開発の話と価格の話が混ざり合っている感じです(笑)。

川合 営業は、どうしても販売しやすい製品から販売していく傾向があります。それがプロジェクトで開発した製品だけを販売することで、開発を含めてどうお客様に案内するか、より注力して考えるようになると思います。

佐藤社長 いい傾向です。そのまま一つひとつのプロジェクトを事業部に育てていきたいですね。できれば、20~30ぐらいのプロジェクトを稼働させたいと考えています。また、九州に新しい工場を稼働させるなど、拠点も増やしています。

鈴木 生産担当として活躍の場が増えるのはうれしく思います。

葉 今後、私はぜひ海外拠点で当社の製品を広める仕事をしたいと願っています。

佐藤社長 皆さんのように自律している社員の集まりになれば、当社は世界的な化学メーカーになると確信しています。そうしたら、地域にもっと貢献することができます。ゆくゆくは、嵐山町を“太陽の街”と呼ばれるように発展させたいと決意を新たにしました。

2014年度CSR活動の実績と今後の目標

「CSR理念」と「行動規範」に基づき、2014年度の主な活動実績と、2015年度の課題・目標についてまとめました。個々の取り組みの詳細につきましては、各掲載ページをご覧ください。

☺: 目標達成 ☹: 着手したが未達成 ☹: 未着手

マネジメント					
取り組み項目	2014年度の課題・目標	2014年度の主な活動実績	評価	2015年度の課題・目標	掲載ページ
内部統制システム	<ul style="list-style-type: none"> 永勝泰グループの内部統制システムを定着させる(自己評価の実施) 販売管理システムが変更される太陽インキの内部統制システムの見直し・評価 	<ul style="list-style-type: none"> 評価対象各社に出向いて整備状況の評価を実施し、各社が初めて実施した自己評価に対する独立的評価を実施し有効性を確認 太陽インキの販売管理システムの変更に伴う内部統制システムの見直しおよび評価を実施し有効性を確認 	☺	<ul style="list-style-type: none"> グループ全体のシステムの有効性と効率性の向上 海外子会社における内部統制システムの運用定着と現地化 	P9
コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> リスク調査の実施と対応 啓蒙活動のための教育資料などの充実化 ホットラインの運用の見直し(相談しやすい雰囲気づくりの向上を目指す) 海外グループ会社への展開を進める 	<ul style="list-style-type: none"> リスク調査を実施し、抽出されたリスクに対応 生産部門員を対象に理解度テストの実施 相談・通報窓口を統一しホットラインの運用を大幅に見直した 海外子会社に対して取り組み状況についてのアンケートを実施した 	☺	<ul style="list-style-type: none"> 海外子会社のコンプライアンス活動の推進をサポート 見直されたホットラインの運用の有効性を確認する 啓蒙活動のための全社的なE&C教育、ならびに社内外への情報発信などの検討、実施 法規制管理に関するサポート体制の検討 	P9
リスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> 被害想定を変えた防災訓練を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 地元消防署にご協力いただき煙体験、生火を使用した消火訓練、また早期対応など手順を変えた防災訓練を実施 メンタルヘルス制度を早期導入 BCP対策の確立に着手 	☺	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き防災訓練を実施 BCP対策を確立 	P10

社会性報告

取り組み項目	2014年度の課題・目標	2014年度の主な活動実績	評価	2015年度の課題・目標	掲載ページ
ステークホルダーとの関わり	株主・投資家の皆様	<ul style="list-style-type: none"> 継続的な安定配当を実施する ホームページ、CSRレポート、アニュアルレポートなどにより適切な情報開示を行う 	☺	<ul style="list-style-type: none"> 継続的な安定配当を実施する ホームページ、CSRレポート、アニュアルレポートなどにより適切な情報開示を行う 	P11
	お客様	<ul style="list-style-type: none"> 2013年度と同一課題・目標を展開し、さらなるレベルUPを図る 	☺	<ul style="list-style-type: none"> 粗粒対策および製品品質を高めるために「製品設計」「工程設計」「改善活動」のさらなる推進 基準値の見直し、要領の遵守により異常品の流出防止と発生未防止を推進する 	P12
	お取引先	<ul style="list-style-type: none"> CSR調達ガイドラインを作成する 	☹	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きCSR調達ガイドラインを作成する 	P12
	地域・社会	<ul style="list-style-type: none"> 太陽HDを含めた社会貢献ガイドラインを作成し運用を開始する 	☹	<ul style="list-style-type: none"> 社会貢献ガイドラインの概要作成にとどまる 地域貢献として化学実験教室など新しい取り組みを実施した 	P13~14
	社員	<ul style="list-style-type: none"> 実施準備が完了した案件を実施し、さらなるニーズ調査を行う 	☺	<ul style="list-style-type: none"> 社員のニーズなどを反映させた制度を複数実施した 	P15~16

環境報告

取り組み項目	2014年度の課題・目標	2014年度の主な活動実績	評価	2015年度の課題・目標	掲載ページ
環境活動	<ul style="list-style-type: none"> 電力使用量の削減活動を継続して実施する 	<ul style="list-style-type: none"> クールビズ、ウォームビズを継続 電力デマンド監視機器による電力量のチェック・コントロールを継続 照明のLED化を推進 最新エレベーターへ更新するなど省エネ機器導入を推進 	☺	<ul style="list-style-type: none"> 電力使用量の削減活動を継続して実施する 	P17~22

コーポレートガバナンス

経営の透明性を確保して説明責任を果たし、健全な会社運営を行うために、「取締役会」と「監査役会」を中心とした体制を構築しています。

コーポレートガバナンス体制

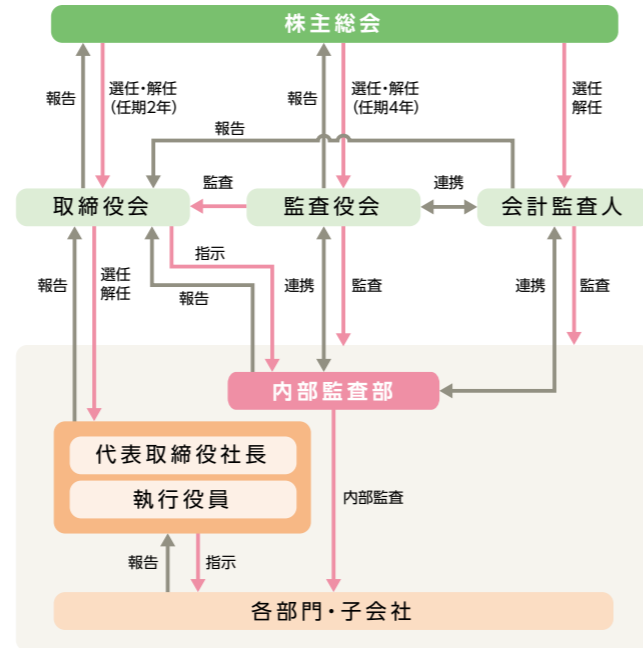
社会から信頼される企業として存続するためには、効率的な業務執行体制を構築するとともに、経営の透明性、健全性を高めることが重要であると考えています。経営環境の変化に迅速に対応できる業務執行とその監督の体制を整え、太陽HDグループ経営全般にわたる、企業価値の向上を図っています。

内部統制システム

2014年度は第69期内部統制基本計画書に基づき、以下の重点課題に注力するとともに、内部統制システムの適切な運用に努めました。

- ①新たに太陽深圳^{*1}と太陽シンガポール^{*2}を全社的な内部統制の評価範囲に加え、グループ横断的な内部統制の強化を図りました。
- ②前年度に引き続き太陽インキにおいてシステムの入替えを行い、業務プロセスの変更など内部統制システムの改善を図りました。

■コーポレートガバナンス体制図



※1 太陽油墨貿易(深圳)有限公司
 ※2 TAIYO INK INTERNATIONAL (SINGAPORE) PTE LTD

リスクマネジメントに関する取り組み

事業活動に伴い発生する様々なリスクに対して、適切な対応措置の検討、整備を行ってまいります。

BCP対策

2015年9月、北九州市において、国内生産工場の第二拠点となる「太陽インキ 北九州事業所」が操業予定です。この事業所設立の最大の目的は「BCP(事業継続計画)の確立」です。当社主力製品の国内での複数拠点による生産を実現することで、災害などにより製品供給がストップするリスクを低減します。

さらに、北九州事業所は液状タイプとドライフィルムタイプのソルダーレジストをそれぞれ工場内で一貫生産することができるほか、量産にも対応できることから、製品安定供給に向けての役割を担います。

また、新拠点の設置場所は、BCPなどの観点から以下の理由により北九州市が最適であると判断しました。

①地震・災害リスクの低さ

北九州市は低災害リスクエリアとしてマスコミにも取り上げられており、地震などのリスクの低さは事業の継続において大きな利点といえます。

②市場と近接

北九州市は当社グループのお客様の多くが工場を構えるアジア各地域とのアクセスに恵まれています。また、空路以外にも門司港をはじめとする国際港や、近接地域のフェリーターミナルからの海路の利用が可能であり、輸送手段の選択肢が広がります。

③支援体制の充実

福岡県および北九州市の行政支援、ならびに拠点の建設地である三菱化学株式会社黒崎事業所内のユーティリティ供給を含め、運用面におけるサポートが期待できます。

当社グループは大規模災害等の有事の際でも、最適地からの製品出荷を可能とする体制構築に努めるなど、今後も世界トップシェアメーカーとしての責務を果たしてまいります。



完成予想図

新事業所の概要

名称	太陽インキ製造株式会社 北九州事業所
所在地	福岡県北九州市八幡西区 (三菱化学株式会社黒崎事業所内)
敷地面積	約18,000㎡
総投資額	約35億円
生産品目	半導体パッケージ基板用液状型ソルダーレジスト およびドライフィルムソルダーレジスト
生産能力	液状型：年産1,500トン ドライフィルム：年産280万㎡

メンタルヘルス対策

太陽HDは、労働安全衛生法の一部改正で、ストレスチェック(心理的な負担の程度を把握する検査)制度が創設されたことを受け、メンタルヘルス対策への取り組みについて従来以上に力を入れ始めました。

当制度の施行は、2015年12月1日ですが、当社は1年前倒しで導入しました。2014年度より全従業員を対象に、メンタルヘルスのアンケートを実施し、またその集計結果に基づき、専門講師を招いて従業員が自身のストレスの状況を早期に把握する方法や快適な職場環境形成に必要な仕組みなどの研修を行い、社員のメンタルヘルス不調を未然に防ぐよう努めています。

リスク調査

2014年度は、当社の倫理・法令遵守に関するアンケート調査を実施しました。抽出された課題や潜在的なリスクについては優先順位を設けて対応にあたっています。この調査により、2015年度は相談・通報窓口体制の見直しなど、倫理・法令遵守システムの整備を進めます。



リスク調査結果報告

コンプライアンスに関する取り組み

私たちは、法令その他の社会的規範を遵守し、公明かつ公正な活動を行い、社会から信頼される企業を目指します。

コンプライアンス活動

太陽HDグループは、コンプライアンス推進組織を形成し、倫理・法令遵守システムの運用を通じて、社員のコンプライアンス意識に対する啓発活動を推進しています。

コンプライアンス推進組織は当社グループの「CSR理念」「行動規範」を社員が理解し、その精神に沿った活動が維持されるよう指導しています。2014年度からは、倫理・法令遵守の精神がより一層浸透するように、グループ各社が自発的にコンプライアンス活動を推進するための取り組みを行っています。

また、コンプライアンス推進組織の活動内容を「E&C情報」として社内Webに掲載することにより、具体的な取り組み内容や成果などを多くの社員が目にする機会を提供しています。

コンプライアンス教育

社内コンプライアンス教育の一環として、コンプライアンスに関する教材を利用した部署ごとの倫理・法令遵守教育を行っています。また、2014年度は太陽インキの生産部門員を対象に理解度テストを実施しました。結果は2015年度の教育に反映し、より深い理解につながります。



DVDを使用したコンプライアンス教育の様子

株主の皆様との関わり

利益の配分ならびに適切なコミュニケーションを通じて、株主の皆様の「幸福と繁栄」に寄与します。

利益の配分について

太陽HDでは、株主の皆様への現金による利益還元を重要政策と位置付けており、継続的かつ安定的に高水準の利益還元を実施しています。具体的には株主資本配当率を目標指標とし、「連結決算を基準に株主資本配当率を中長期的に5%以上とすること」を目処としています。

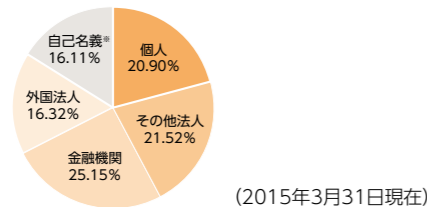
この方針に基づき、2014年度は年間配当額を1株あたり90円と決定したことに加え、取締役決議により92億円の自己株式の取得を行ったことにより、株主還元率は170.6%、2010年度からの5年間の累計株主還元率は111.5%となりました。

株式の状況

発行済株式数	株主数
27,464,000株	5,623人

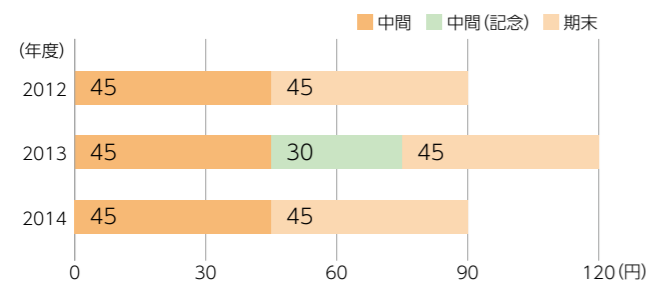
(2015年3月31日現在)

株式分布状況

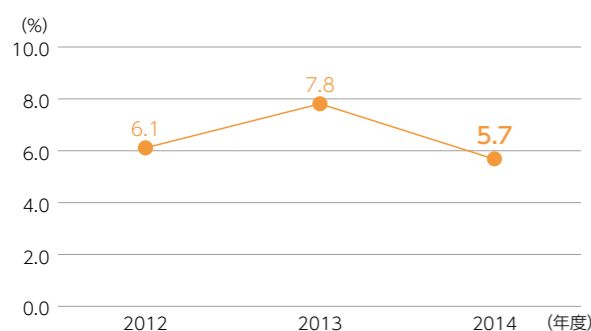


※日本マスタートラスト信託銀行株式会社(株式付与ESOP信託口)が所有する当社株式98,760株を含んでいません。

1株あたりの配当の推移



株主資本配当率の推移(連結)



IR活動

投資判断に有効な情報を株主・投資家の皆様にお届けするため、正確性・公平性・迅速性を確保したIR活動の実施を基本方針としています。

具体的な活動としては、自社ホームページでのIR情報提供、アニュアルレポートの発行、アナリスト・機関投資家向けの決算説明会開催、機関投資家との個別ミーティングなどを実施しています。

2014年度からは決算発表を例年より一週間ほど早く、情報開示の迅速化に努めています。

開かれた株主総会

2014年6月20日、第68回定時株主総会を開催しました。当社の定時株主総会は、多くの株主の皆様にご出席いただきたいという思いから、例年、株主総会が集中する期間を避けて開催しています。2014年はさらに開催日を一週間ほど早めたこともあり、多くの株主の皆様にご出席いただきました。

この株主総会の模様は、当社ホームページでのオンデマンド配信により、当日ご出席いただけなかった株主の皆様をはじめ、報道関係の方など、どなたでもご覧いただくことができます。また株主総会終了後には、例年懇談会を開催しており、当社グループの製品が使用されたプリント配線板や電気製品をご覧いただきながら、役員や開発担当者と直接対話ができる場を設け、株主の皆様とのコミュニケーションの充実を図っています。

TOPICS ホームページのご紹介

当社は株主・投資家の皆様に対し、企業情報や財務情報などの情報開示を積極的に行っています。展示会に出展した製品の紹介や、用語の解説などもございますので、当社をご理解いただくための一助としてご覧いただければ幸いです。また、メールマガジンの配信サービスもありますので、発表した情報について連絡を希望される方はぜひご登録をお願いいたします。



taiyo-hd.co.jp

お客様との関わり

太陽インキではISO 9001:2008に基づいた品質マネジメントシステムを適用して、品質保証、品質管理、品質改善の活動を行い、お客様にご満足いただける品質と安全性を確保し提供しています。

マネジメントシステムの改善

2014年度は、マネジメントシステムの合理的な運用を目指し、QMS^{※1}とEMS^{※2}の共通するプロセス(文書管理、記録管理、教育・訓練、内部監査)についてマネジメントシステムの文書を統合しました。

2015年は、ISO 9001(QMS)、ISO 14001(EMS)ともに改訂が予定されていることから、まずは規格要求事項への適合性を確実にし、継続的なマネジメントシステムの有効性向上を目指します。

製品のインプットからアウトプットまでのチェック項目

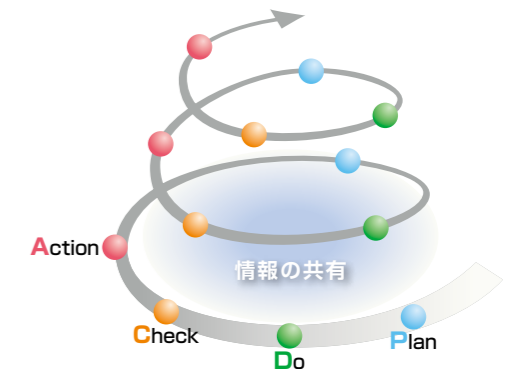
- ①原料受入検査(安定した生産の確保)
原料納入時の受入検査規格に加え、特定の原料はより精度の高い試験を行っています。品質の安定した原料を使用することで機械設置など製造条件の標準化に努めていきます。
- ②工程内チェック項目の安定化(製品検査に頼らないものづくり)
製品のでき栄え(製品品質)の確認は製品検査だけに頼るのではなく、工程内のチェック体制を強化することで品質の作り込みを行っています。
- ③製品検査(安定した製品の提供)
規格の適合性検査だけでなく、傾向管理^{※3}に力を入れ、より安定した製品をお客様に提供できるよう努めていきます。

お客様からの声の活用

お客様から寄せられる苦情をはじめとする様々な声は、品質向上の絶好の機会ととらえています。

お寄せいただいた声は取りこぼすことなく原因を究明し対策を講じることで、今まで以上に質の高い製品の提供に日々努めています。

お客様との情報共有に基づく品質改善



用語解説
 ※1 QMS: 品質マネジメントシステム
 ※2 EMS: 環境マネジメントシステム
 ※3 傾向管理: 規格の合否判定だけでなく、実測値がどのように推移しているか確認し、不合格になる前に対策を講じ、安定した品質を維持する活動

お取引先との関わり

グリーン調達基準に基づき、環境と安全性・品質安定性に配慮した原材料の調達を行っています。

購入先評価と立ち入り監査の実施

お取引先との信頼関係の構築・強化のためにお取引先にご協力をいただき、今年も立ち入り監査を実施しました。

監査は主に購買課、品質保証部にて構成されたメンバーで行い、場合によっては製造技術・設計部門も加わり、原料および副資材の品質向上を目的に実施しています。

監査の実施結果

2014年度は、お取引先5社の監査と7社の工場見学・立ち会い試験を実施しました。

- ①品質不具合のフォローアップ 2社
- ②原料安定供給確認 2社
- ③生産ラインの変更 1社
- ④生産工程の見学、試験 7社

お取引先の監査および外注先での立ち会い試験を通じて、当社製品の用途や原材料に要求される品質をご理解

いただき、生産に活用していただいています。また、お取引先に対して当社の環境管理物質への取り組みについて説明し、変更などが生じた場合に都度、対象の物質が含まれていないかご報告いただくことを理解していただきました。

下請法の遵守

公正取引委員会からの「下請事業者との取引に関する調査」について、積極的に協力しました。

下請法対象の8社に対して取引を行う際に、以下の事項を十分考慮して対応しております。

- ① 下請代金支払遅延等防止法の遵守
- ② 金融繁忙期の資金繰りへの配慮
- ③ 下請事業者の利益の確保
- ④ 原材料価格等の上昇への配慮
- ⑤ 消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保

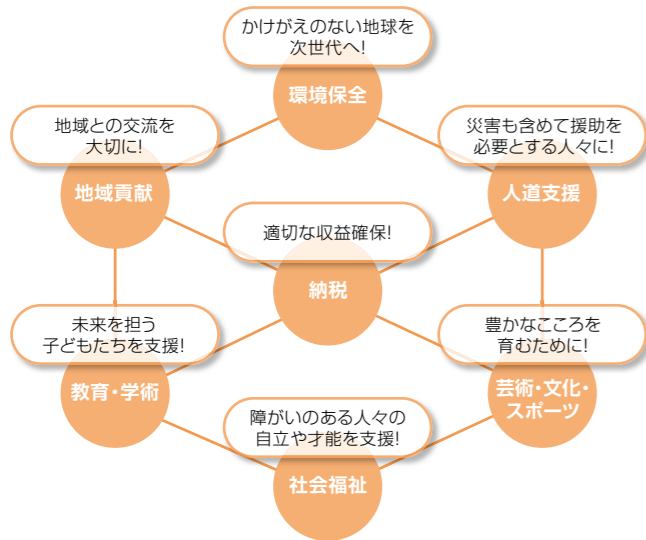
地域・社会との関わり

地域社会と地球環境との調和を目指し、企業市民として様々な社会貢献活動に、積極的に取り組んでいます。

社会貢献に対する基本的な考え方

社会の一員として、社会の発展に寄与すること。これも企業が果たすべき大切な責任のひとつです。限りある資源を次の世代に残し、関わる人の心を豊かにし、共に成長する企業であり続けるため、太陽HDグループ各社が連携し幅広い活動に取り組んでいます。

太陽HDグループが目指す社会貢献



2014年度 地域・社会貢献活動概要

活動項目	実施時期	内容
練馬みどりの葉っぱい基金寄付	4月	練馬区の自然保護活動への協力
嵐山町民体育祭	10月	賞品の協賛
日赤献血活動	10月	輸血を必要としている患者さんの尊い命を救うための活動
日本赤十字(募金)	11月	人間の命と健康、尊厳を守るための活動に協力
赤い羽根共同募金	11月	地域福祉の推進を支援
日本ユニセフ協会(募金)	11月	子どもたちの権利が守られる世界を実現するための活動に協力
嵐山まつり	11月	模擬店の出店や祭りの運営に協力
工場見学	11月	小学生の社会科見学受入れ
イベント協賛	通年	スポーツイベントなどへの協賛金の拠出
義捐金・救援金寄付	通年	海外を含めた激甚被災地への復旧支援
社有車防犯ステッカー貼付	通年	地域の防犯活動として社有車に防犯ステッカーを貼付
子ども110番の家登録	通年	緊急時の避難場所として、当社を登録
嵐山町町内小中学校PTA資源回収協力	通年	教材費用などへの活用を目的として廃段ボールを提供
エコキャッププロジェクト	通年	ペットボトルのキャップを集め、世界の子どもたちにワクチンを届ける活動に協力
使用済み切手収集	通年	使用済み切手を集め、施設や団体に寄付

社会貢献活動

●献血サポーター

近年の少子高齢化に伴う献血者の減少、輸血者の増加などにより、血液不足が深刻化しています。血液は人工的に作ることができないため、継続的な献血を実施し、必要な血液を確保しておく必要があります。

太陽インキは、厚生労働省の献血推進対策に賛同し、献血サポーターとして社員へ献血活動への理解と協力を呼びかけています。また、太陽HDグループの国内拠点に勤務する社員も毎年1回の巡回献血に協力しています。



献血風景



●イベントへの協賛

近年健康への関心が高まっており、それに伴い多様な市民参加型スポーツイベントが開催されています。当社グループはイベント参加者の健康増進や地域の活性化への手助けになればとの思いから協賛金を拠出しています。2014年度は太陽HD本社近隣で開催された「練馬こぶしハーフマラソン」、太陽インキのある嵐山町近隣のイベントである「第22回小川和紙マラソン大会」「第37回日本スリーマーチ」に協賛しました。

VOICE ■ マラソン大会に参加して

有志で作ったユニフォームを着用し、6名で「練馬こぶしハーフマラソン」に出場しました。春の陽ざしのもと、こぶしの花や桜の咲くコースを同僚の声援を背に走り切りました。大会に出るつもりで始めたマラソンではありませんでしたが、今では仕事とは違う緊張感や達成感が得られるので、心身ともにリフレッシュしています。これからも社員や地域との良いコミュニケーションで社会に貢献していきます。



PCB営業部 平田

地域貢献活動

●地域活性化への貢献

嵐山事業所および太陽インキが位置する埼玉県嵐山町は、木曾義仲や畠山重忠など、日本史に名を残した坂東武者ゆかりの地です。その歴史と伝統を継承する文化まつり「嵐山まつり」に、毎年模擬店を出店しています。

2014年度は子ども向け玩具・遊具の販売の他に新たな試みとして、唐揚げの販売や化学実験教室の開催など、



「嵐山まつり」の当社スタッフ

様々な活動を通じて地域の皆様との交流を図ることができました。なお、当日の売上金は全額社会福祉協議会へ寄付し、社会福祉の向上に役立てていただきました。

●工場見学の実施

太陽インキでは、地元小学生の社会科見学を受け入れています。2014年度は、3校から約150名の子どもたちが工場を訪れ、見学者コースから生産工程を見学するとともに、ソルダールレジストについて簡単な説明や化学実験教室を行いました。



工場見学の様子

分解されたパソコン、携帯端末などを手に取り、普段見慣れない機械の中身に触れることで、子どもたちにとって貴重な体験となっていただければうれしく思います。

VOICE ■ 工場見学での化学実験教室

初めての試みとなった化学実験教室では、インキのパターニング工程を学べるよう、光硬化型樹脂を用いたスタンプを作製しました。光照射後の樹脂を水で現像する際、だんだんと凹凸が現れるのを見た子どもたちは「わあ～！絵が出てきた！」と非常に驚いている様子でした。夢中になる姿に私たちもうれしくなり、準備の大変さも吹き飛びました。これからも子どもたちに化学の面白さ、不思議さを感じてもらえる機会を作りたいと思っています。



2014年春入社 女子社員一同

化学実験教室の様子

環境保全活動

●地域清掃活動

太陽インキでは「彩の国ロードサポート」に登録し、国道254号線を中心とした清掃活動を行っています。清掃活動を通して地域の美化に貢献することは、社員の環境に対する意識向上にもつながっています。



地域清掃活動の様子

嵐山町の自然とそこに暮らす生物を守るためにも、今後も地域の清掃活動を継続していきます。

●国蝶「オオムラサキ」の保護

埼玉県嵐山町は、国蝶「オオムラサキ」が生息する自然豊かな町でもあります。太陽インキの敷地内には、成虫が卵を産み付ける「エノキ」や、成虫の餌となる樹液を出す「コナラ」や「クヌギ」といった樹木が生えており、オオムラサキの越冬地となっています。

太陽インキでは、2014年度も敷地内にオオムラサキが越冬しやすい環境を整えるなど、保護活動を行いました。また、里山づくりのボランティア活動にも、社員が積極的に参加しました。

●オオムラサキの越冬幼虫数の推移

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
越冬幼虫数	53	15	7	1

※太陽インキ敷地内で観察できた頭数



オオムラサキの羽化



オオムラサキの成虫

社員との関わり

社員一人ひとりが、個々の強みを活かし、自分の能力や適性を最大限に発揮できる職場づくりを進めています。

雇用における基本的な考え方

太陽HDグループでは、グループ全体の人員状況と成長計画を踏まえ、適正人員の維持を図っています。

また、国籍や性別、年齢などに関係なく活躍できる職場を提供するとともにワーク・ライフ・バランスを推進するために、仕事と家庭生活の両立を支援しています。

社員概況(2015年3月31日現在)

	男性	女性	合計
正社員総数 ^{※1}	274人	48人	322人
正社員以外の雇用数	2人	0人	2人
社員平均年齢 ^{※2}	44.53歳	37.57歳	43.49歳
社員平均勤続年数 ^{※2}	17.91年	13.58年	17.27年
障がい者雇用人数 ^{※2}	2人	0人	2人
障がい者実雇用率 ^{※2※3}	-	-	1.24%
再雇用人数	8人	0人	8人

対象：太陽HD、太陽インキ、太陽GE
 ※1 海外出向者を含む
 ※2 出向受け入れ、派遣社員は除く
 ※3 障がい者雇用率制度による

「次世代の育成」に寄与する支援制度

入所待機児童の増加が社会問題となっているなか、太陽HD、太陽インキおよび太陽GEは、仕事と家庭生活の両立を支援するため育児休業・短時間勤務の制度化をはじめ、各種制度を取り入れています。

主な支援制度

	制度名	利用者数		
		2012年度	2013年度	2014年度
育児支援	育児休業制度 (満1歳に達した翌年度末まで)	5	3	2
	育児短時間勤務制度 (小学校3年生修了まで)	8	10	11
介護支援	介護休暇・介護短時間勤務制度 (延べ日数93日)	1	1	0
看護支援	看護休暇制度	56	60	53
永年勤続	リフレッシュ休暇制度 (勤続5年ごとにリフレッシュ休暇と資金の支給)	63	63	57

対象：太陽HD、太陽インキ、太陽GE

育児短時間勤務制度は法令で定められている期間を超え、3歳以上～小学校3年生の小さな子どもがいる社員に対して、希望により1日の勤務時間を6時間30分まで短縮できるように定めています。

今後もワーク・ライフ・バランスを推進し、社員が働きやすい環境づくりを進めていきます。

従業員株式付与制度(ESOP)の導入

太陽HDは、自社株式を活用した社員の報酬制度の拡充を図る目的で、ESOP(Employee Stock Ownership Plan 信託型の従業員インセンティブ・プラン)制度を導入しました。

当制度では、当社が社員のうち一定の要件を充足する者を受益者として、自社株式の取得資金を拠出することにより信託を設定し、社員の勤続年数および職能資格に応じた当社株式を、一定期間において無償で社員に交付します。

株式交付を通じて、実質的な賃金増を実現するとともに、社員が自社株式を保有することで、会社業績や株価への意識を高め、業績向上を目指した業務遂行を促進する効果が期待できます。

資格取得支援制度

社員の自己啓発を促すことを目的に、「資格取得支援制度」を導入しています。2014年度に報告された資格取得は、20件に上りました。

当制度は外国籍社員の増加に伴い、日本語能力試験を支援対象としています。この制度の利用によって、多くの社員がスキルアップできるよう、今後も支援を続けていきます。

難易度別資格取得者数

難易度	S	A	B	C	D	合計
2013年度	0	1	9	11	1	22
2014年度	0	1	6	12	1	20

対象：太陽HD、太陽インキ、太陽GE
 ※難易度：Sは司法書士・公認会計士など、Aは税理士・中国語検定1級など、Bは日商簿記検定試験2級・TOEIC TEST 700点以上など、Cは産業カウンセラー・基本情報技術者など、Dは環境管理士3級・実用英語技能検定3級など、基準を当社で設定している

社内レクリエーション費用支援制度

社内レクリエーション費用支援制度は、会社がレクリエーションにかかる費用を補助する制度です。各部署は様々な親睦会や、コンサート・演劇鑑賞・スポーツ観戦などにこの制度を活用しています。社員同士の交流を深めるのみではなく、活動を通じて「感動」を味わってもらうことも当制度の目的のひとつといえます。日常生活のなかで心を打つものを発見し体験することは、人々に感動をもたらす新製品の開発と新サービス考案の励みとなります。

VOICE ■ 部署でのミュージカル観劇

私の部署では社内レクリエーション費用支援制度を利用してミュージカルを観劇しました。初めてのミュージカルが合わなかった人もいれば、また観たいという人もいて良い経験になったと思います。私はどうすれば舞台俳優になれるのか?と興味が湧き、観劇が良い刺激となりました。舞台俳優がお客様を喜ばせるように、私は物を作ることで人々に喜びをもたらしていきたいです。



FPCプロジェクト 笠間

TOPICS 職場環境の改善

● 執務スペースの改装

部署間で気軽にコミュニケーションが取れるよう、仕切りとなる壁を取り払い、ミーティングルームなどの個室はガラス張りにしました。動線が交差する場所にリフレッシュコーナーを配置することで社員の交流を促すとともに、ここで浮かんだアイディアを逃さないよう柱や壁をホワイトボードとして書き込める工夫をしています。

● 食堂の改装

食堂を単なる食事の場ではなく、社員が自然と足を向けたくなる場所、また事務所とは異なる雰囲気を演出し新たな発想を生み出せる空間となるよう改装しました。

「地産地消」として地元の食材を使用し、テーブル・椅子などのインテリアには埼玉県産のスギやヒノキを採用しました。日替わりでランチやティータイムメニュー、ディナーを用意しており、リラックスできる空間として、またお客様との打ち合わせスペースとしても利用しています。その他にパーティ用の料理で社内懇親会を行うなど、社員の交流の場として活用しています。

● ミーティングルームの改装

簡単な打ち合わせや接客、休憩など、コミュニケーションツールとして利用しています。木目調の内装で落ち着いた雰囲気のミーティングルームの他に、三和土・框を設けた畳敷きの和室風の会議室をつくるなど、自由な発想を誘発させるような環境になっています。

【太陽HD嵐山事業所の改装例】



執務スペース



リフレッシュコーナー



ミーティングルーム



嵐山食堂

【太陽インキの改装例】



太陽CAFE



和室会議室

環境方針と環境マネジメントシステム

環境基本理念に基づき、環境方針を定めて内外に公表するとともに、太陽HDグループのすべての経営資源を結集し、人・環境・社会が共生する「ものづくり」を推進しています。

環境活動における基本的な考え方

太陽HDグループは、CSR行動規範に「環境の保全」として環境基本理念を定め、「私たちは、社会的責任遂行の一環として地球環境保全に努め、環境と調和した事業活動を行います。」と明言しています。環境マネジメントシステムを通して人々の安全と健康、かけがえのない地球環境を

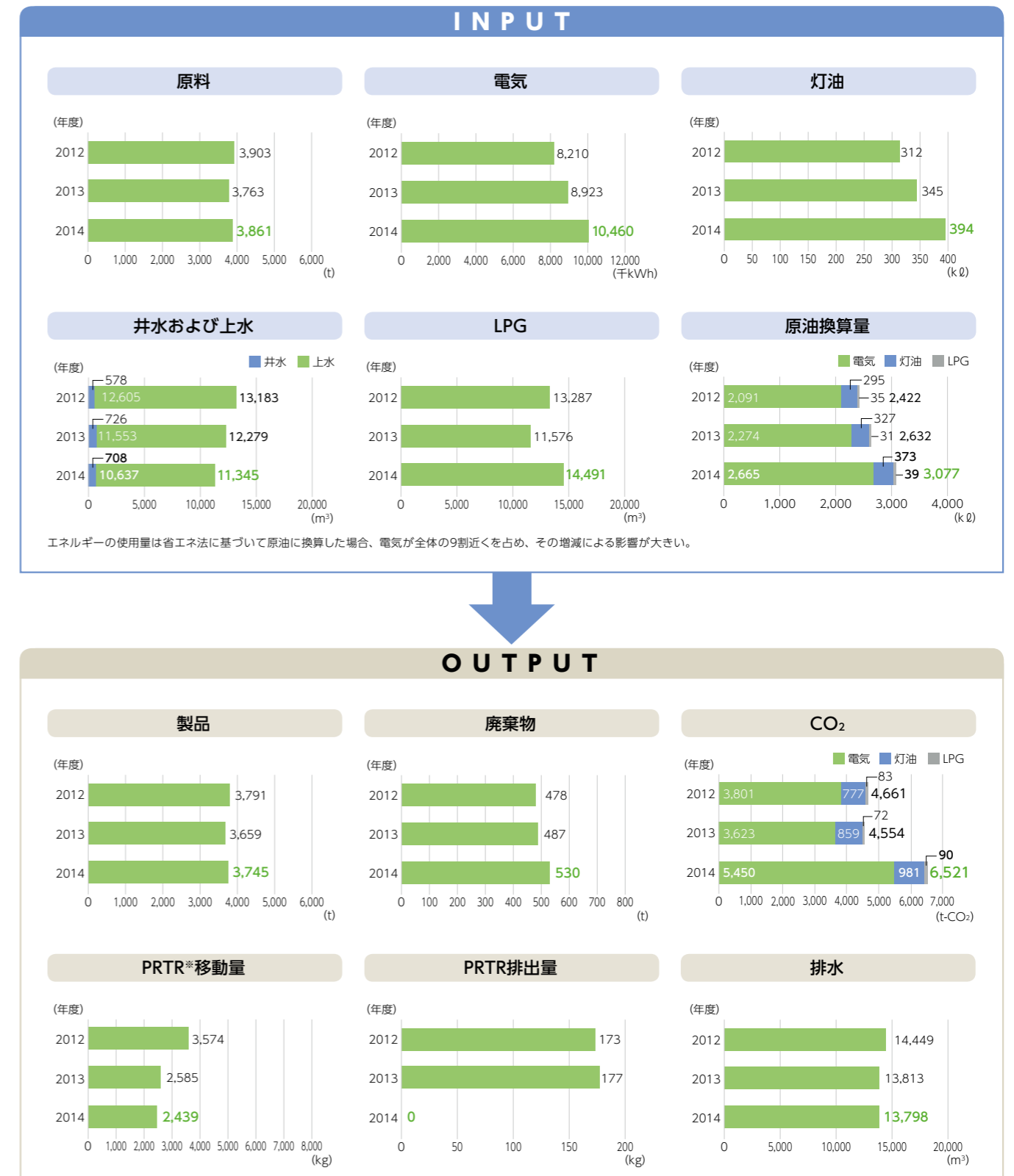
守ることが経営上の重要な課題のひとつであると認識しており、環境経営の実現に向けて、この認識を役員および全社員と共有し、活動しています。

以下は、日本の生産拠点である太陽インキの環境基本理念と環境方針です。



事業活動と環境との関わり

事業活動において、どれだけの資源やエネルギーを使用 (INPUT) しているか、どのくらいのCO₂や廃棄物などを発生 (OUTPUT) させているかデータを把握し、分析しています。



用語解説 ※PRTR: Pollutant Release and Transfer Registerの略
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

環境負荷低減の取り組み

化学物質によって実現できる豊かさを得た一方、地球環境や人々の健康に与える影響を考慮し、高機能かつ環境負荷の低減を両立した「ものづくり」に取り組んでいます。

太陽グリーンエネルギーの設立

太陽HDグループは環境負荷低減の取り組みの一環として埼玉県嵐山町内に水上設置型メガソーラーを、また嵐山事業所管理棟屋上に発電設備を設置して太陽光発電事業を行います。これらの事業運営会社として昨年12月に当社100%出資子会社、太陽GEを設立しました。現在発電所の建設工事を急ピッチで進めています。

当社グループではこれまで積み上げてきた環境負荷を低減する取り組みを継続するとともに、温室効果ガス(CO₂)の削減が期待される「再生可能エネルギー」の普及促進に努め、企業の社会的責任としての環境負荷低減などを通じて社会に貢献します。

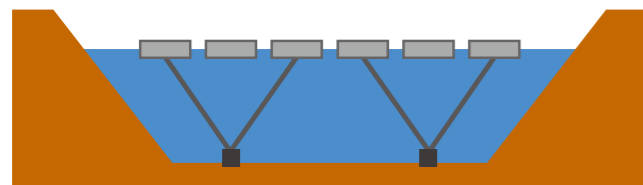
太陽GEの概要

商号 太陽グリーンエネルギー株式会社
 本店所在地 埼玉県比企郡嵐山町大字大蔵388番地
 代表者 代表取締役 佐藤英志
 事業内容 自然エネルギー等による発電事業および電気の供給、販売等に関する業務
 資本金 10百万円
 設立年月 平成26年12月

嵐山水上太陽光発電所

嵐山花見台工業団地に隣接する調整池を嵐山町から借用して嵐山水上太陽光発電所を建設しています。2015年3月からの準備工事を経て4月に着工し、10月からの発電開始を予定しています。事業期間は発電の開始から20年間と長期間にわたるため、使用するソーラーパネルや機器類は信頼性の高い機材を採用しました。太陽光発電所の最大の特徴はソーラーパネルを水上に浮かべる「水上設置型メガソーラー」という点です。

太陽光発電所の建設場所を陸上から水上へと広げること



水上太陽光発電のイメージ図(ソーラーパネルを水上に浮かべます)

で、今まで利用が難しかった湖沼や湿地にも太陽光発電所を建設することが可能となりました。約4,500枚のソーラーパネルから一般家庭約370世帯分の電力が得られます。また、CO₂削減量はこの発電所だけで1年間で約400トンを見込んでいます。

発電状況やCO₂の削減量は、嵐山事業所で監視すると同時に、嵐山花見台工業団地管理センターにモニター設備を設置しますので、管理センターを訪問される方は自由に見学することができます。



完成予想図

工事計画概要

名称 嵐山水上太陽光発電所
 所在地 嵐山花見台工業団地調整池
 池面積 約22,000㎡
 工期 2015年4月～9月
 出力 約1,150kW

TOPICS 管理センターに太陽光発電設備設置へ

管理センターにも蓄電池を備えた太陽光発電設備の設置を計画しています。この設備は56枚のソーラーパネルと容量10kWhの蓄電池で構成されていて出力は約14kWとなります。停電時にも蓄電池に蓄えた電力によって重要設備に電力を供給することができます。当社グループではこの設備を嵐山町に寄付することを計画しています。

嵐山事業所 太陽光発電

2015年2月27日に嵐山事業所の管理棟屋上にソーラーパネルが設置され、太陽GE初の発電事業が始まりました。ソーラーパネルは管理棟屋上に144枚が敷き詰められ、日差しが弱い冬場でも朝の6時頃から発電を始め、日々活躍しています。管理棟の玄関ホールの右手には発電状況を表示するモニターが設置され、日・月・年の発電電力量、CO₂の削減量、CO₂削減の換算値として森林のクスノキが吸収する本数などが詳しく表示されています。お立ち寄りの際はぜひご覧ください。

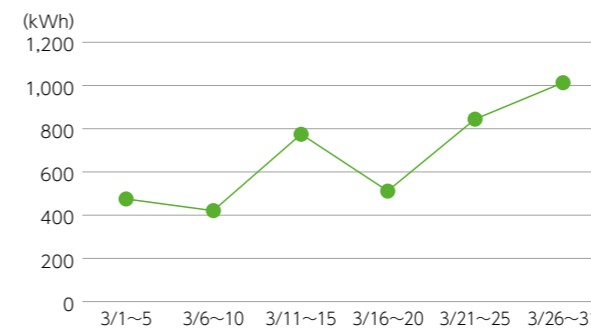
屋上に敷き詰められたソーラーパネル



嵐山事業所 管理棟

発電状況などを表示するモニター

■発電電力量の推移



LED照明の順次導入

当社グループでは照明器具の更新時期やフロアの改装などにあわせ、節電効果の高いLED照明への更新を進めています。2014年度は、太陽HD本社では4階会議室など、太陽HD嵐山事業所では技開棟3階執務エリアなど、太陽インキでは事務厚生棟の執務エリアや食堂などにて実施しました。

LED照明の導入費用は従来の照明に比べ高額なものの、長期間でのランニングコストを含めると経費削減が図れます。普段の執務中はあまり気にすることのない照明ですが、照明を一新するとフロア自体も新しくなったように見え、気分も一新、業務もはかどるという効果もあります。

節電効果、経費削減、業務推進効果のあるLED照明への更新を2015年度以降も順次進めていく予定です。



LED照明を使用したオフィス

エレベーターの更新

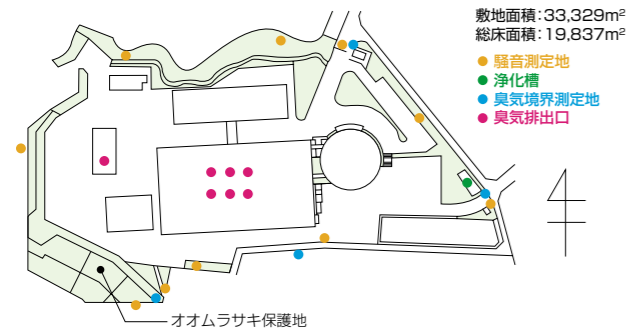
太陽HD本社では2014年度、エレベーターの更新を実施しました。今回の更新はエレベーター自体が設置から23年が経過し更新時期であったこと、耐震対策や最新の安全基準に対応するために行いましたが、電動機の電気容量も22kWから3.7kWへ大幅に下がり、大きな節電効果が見込めます。

また今回の更新に際し、エレベーターシステムを油圧式から現在主流のロープ式に変更したことにより、機械室の設置が不要となり省スペース化が実現でき、また運行が非常にスムーズになり乗り心地も良くなりました。

法規制測定データ集

法規制に基づく測定を定期的に行い、周辺環境への負荷を監視することで、事業活動に伴う環境負荷の低減を図ります。

太陽インキ製造 埼玉県比企郡嵐山町大字平澤900番地



● 社外臭気(悪臭防止法/埼玉県条例^{*1})

臭気指数	測定箇所	規制値	2012年度	2013年度	2014年度
			2012年度	2013年度	2014年度
臭気指数	敷地境界線	15以下	10未満	10未満	10未満
	E-1011	35以下	30	27	26
	F-1001	39以下	29	24	27
	第二工場	31以下	—	—	12
	E-1021	42以下	—	—	36

※2014年度より新しく測定を行っています

● 騒音(騒音規制法^{*2}/埼玉県条例)

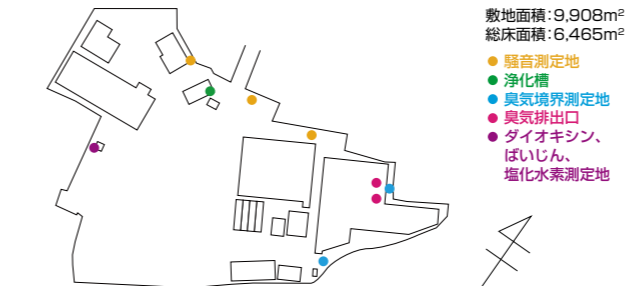
	測定箇所	規制値	2012年度	2013年度	2014年度
			2012年度	2013年度	2014年度
朝	東側	50以下	46	44	43
	南側		42	42	43
	西側		43	44	43
	北側		42	44	42
昼間	東側	55以下	44	44	45
	南側		48	48	52
	西側		43	44	46
	北側		42	44	44
夕	東側	50以下	44	43	45
	南側		41	41	47
	西側		41	41	44
	北側		41	41	42
夜間	東側	45以下	43	42	44
	南側		40	40	42
	西側		38	37	42
	北側		40	40	43

● 合併浄化槽(浄化槽法・水質汚濁防止法/埼玉県条例)

項目	単位	規制値	2012年度	2013年度	2014年度	
生活環境項目	化学的酸素要求量(COD)	mg/L	160以下	8.7	9.1	9.2
	生物学的酸素要求量(BOD)	mg/L	25以下	3.5	3.6	3.9
	浮遊物質(SS)	mg/L	60以下	5.6	7.1	7.0
	水素イオン濃度	pH	5.8~8.6	7.7	7.3	7.2
	大腸菌群数	個/cm³	3,000以下	30未満	30未満	30未満
	銅	mg/L	3以下	0.1未満	0.1未満	0.1未満
	亜鉛	mg/L	2以下	0.1未満	0.1未満	0.1未満
	溶解性鉄	mg/L	10以下	1未満	1未満	1未満
	溶解性マンガン	mg/L	10以下	1未満	1未満	1未満
	全クロム	mg/L	2以下	0.05未満	0.05未満	0.05未満
	全窒素	mg/L	120以下	16.1	21.2	18.0
	全リン	mg/L	16以下	1.9	2.0	2.6
	ノルマルヘキサン抽出物質	mg/L	30以下	2.5未満	2.5未満	2.2
有害物質	シアン化合物	mg/L	1以下	0.1未満	0.1未満	
	鉛およびその化合物	mg/L	0.1以下	0.01未満	0.01未満	
	六価クロム化合物	mg/L	0.5以下	0.05未満	0.05未満	
	四塩化炭素	mg/L	0.02以下	0.002未満	0.002未満	
	ふっ素およびその化合物	mg/L	8以下	0.8未満	0.8未満	

※1 埼玉県条例：埼玉県生活環境保全条例
 ※2 騒音規制法：騒音規制に関する法律
 ※3 ダイオキシジン法：ダイオキシジン類対策特別措置法

太陽ホールディングス嵐山事業所 埼玉県比企郡嵐山町大字大蔵388番地



● 小型焼却炉(ダイオキシジン法^{*3}/埼玉県条例)

項目	単位	規制値	2012年度	2013年度	2014年度
ばいじん	g/m³N	0.15以下	0.01135	0.0058	0.015
排ガス中のダイオキシジン	ng-TEQ/m³N	5以下	0.19	0.39	0.15
焼却灰中のダイオキシジン	ng-TEQ/g	3以下	0.086	0.015	0.057
塩化水素	mg/m³N	500以下	120.95	28.5	114

● 社外臭気(悪臭防止法/埼玉県条例)

臭気指数	測定箇所	規制値	2012年度	2013年度	2014年度
			2012年度	2013年度	2014年度
臭気指数	技術棟排出口	40以下	22	21	14
	技術棟排出口	40以下	21	22	14
	敷地境界線No.1	18以下	13	10未満	10未満
	敷地境界線No.2	18以下	10未満	10未満	10未満

● 騒音(騒音規制法/埼玉県条例)

	測定箇所	規制値	2012年度	2013年度	2014年度
			2012年度	2013年度	2014年度
朝	東側	50以下	46	43	45
	北側		43	42	44
	西側		45	44	42
昼間	東側	55以下	46	45	45
	北側		45	44	44
	西側		47	46	45
夕	東側	50以下	45	45	45
	北側		44	42	43
	西側		45	45	43
夜間	東側	45以下	44	43	44
	北側		41	41	43
	西側		44	43	42

● 合併浄化槽(浄化槽法・水質汚濁防止法/埼玉県条例)

項目	単位	規制値	2012年度	2013年度	2014年度	
生活環境項目	化学的酸素要求量(COD)	mg/L	160以下	2.7	37	10
	生物学的酸素要求量(BOD)	mg/L	25以下	11.5	7.7	27.7
	浮遊物質(SS)	mg/L	60以下	6.0	6.3	10.3
	水素イオン濃度	pH	5.8~8.6	7.0	7.0	7.2
	大腸菌群数	個/cm³	3,000以下	298.0	189.2	6,484
	銅	mg/L	3以下	0.03未満	0.03未満	0.03未満
	亜鉛	mg/L	2以下	0.05未満	0.07	0.05未満
	溶解性鉄	mg/L	10以下	0.2	0.1未満	0.1
	溶解性マンガン	mg/L	10以下	0.1未満	0.1未満	0.1未満
	全クロム	mg/L	2以下	0.05未満	0.05未満	0.05未満
	全窒素	mg/L	120以下	4.1	30	21
	全リン	mg/L	16以下	0.2	5.1	2.0
	ノルマルヘキサン抽出物質	mg/L	30以下	2.5未満	2.5未満	2.5未満
有害物質	シアン化合物	mg/L	1以下	0.02未満	0.02未満	
	鉛およびその化合物	mg/L	0.1以下	0.01未満	0.01未満	
	六価クロム化合物	mg/L	0.5以下	0.05未満	0.05未満	
	四塩化炭素	mg/L	0.02以下	0.002未満	0.002未満	
	ふっ素およびその化合物	mg/L	8以下	0.2未満	0.2未満	
	ほう素およびその化合物	mg/L	8以下	—	—	0.1未満

※「小型焼却炉」「合併浄化槽」における実測値は、同一年度内に実施した全測定の前平均値。ただし、「未満」と記載のあるものは測定限界値以下をあらわす